
— 第 78 年度 —

中・四国地方支部管内 地区大会を開催

■ 愛媛地区

10月5日、10時から愛媛支部3階会議室において、愛媛地区大会が開催された。地区大会は塩見春也執行部員の司会で始まり、地区大会が成立していることを確認、議長に清水駿愛媛支部長を選出した。清水議長は「3年ぶりに地区大会の成立要件を満たし、開催に至った。新型コロナウイルス感染者数は徐々に減少傾向にあるものの、感染予防対策を徹底した上で、出席者各位と議論を重ね、共通認識を図って、定期全国大会に臨みたい」と、あいさつし議事に入った。

議事では、はじめに第77年度の愛媛支部の活動報告を行い、続いて第78年度活動方針案の趣旨を執行部から説明し、質疑応答により理解を深めた。

出席した全国委員からは、本地区の現状を踏まえ、本四架橋供用開始により、離職を余儀なくされたフェリー・旅客船で働く者の転業・転職の場として設立された料金收受業務に関して、組合員の雇用と生活を守るべく、決議案1本「本州四国連絡架橋で働く組合員の雇用と生活を守る決議（案）」が提出され、審議を行った結果、満場一致で決議案を採択し、愛媛地区大会を終了した。

■ 広島地区

10月7日、13時30分から中・四国地方支部において第78年度広島地区大会が開催された。はじめに本地区大会が成立していることを確認し、議長に除補修中・四国地方支部長を選出した。除補議長は「第83回定期全国大会が、幕張メッセ国際会議場で開催される。本日は活発な議論により活動方針案に対する共通認識を図り、大会に臨んでいただきたい」とあいさつした。

その後、議事に入り、第77年度の中・四国地方支部の活動報告が行われ、出席者からは▽奨学金制度の利用者について▽洋上風力発電事業についての質問があり、執行部が説明し理解を深めた。

続いて、第78年度活動方針案の趣旨を執行部から説明し、小型旅客船の安全対策と上級免状の取得などの質問・意見があり、質疑応答で共通認識を図り、16時に終了した。